

令和3年度 年間授業計画

東京都立墨田工業高等学校(定時制課程)

教科名	科目名	単位数	対象学年	対象コース
工業	自動車整備	2	2学年	自動車コース
教科書名(出版社)		副教科書ほか	教員氏名	
自動車整備・自動車工学1・2(実教出版)		三級自動車ガソリン・エンジン 三級二輪自動車ほか		

【この科目の教育目標】

自動車の整備に関する知識と技術を習得させると共に、自動車の概要とガソリン・エンジン本体等に関する構造や機構を理解させ、実際に整備する際に活用できる能力と態度を育てる。

【この科目の教育内容】

- (1)自動車の整備とエンジンの概要
- (2)エンジン本体の点検・整備
- (3)二輪自動車の整備

【授業計画】(予定時数＝単位数×35時間)

1 学 期	自動車整備の目的と内容 エンジンの概要 エンジンの構造と機能 エンジン本体各部の点検・整備 ・シリンダ・ヘッド ・シリンダ、シリンダ・ブロック ・ピストン、ピストンリング
2 学 期	エンジン本体各部の点検・整備 ・コンロッド、コンロッド・ベアリング ・クランクシャフト、ジャーナル・ベアリング ・フライホイール、リング・ギヤ ・バルブ機構 ・潤滑装置 ・冷却装置 ・燃料装置 ・吸排気装置
3 学 期	二輪自動車の整備 ・二輪自動車の構成 ・二輪自動車の整備

【成績評価の方法】

- 1) 定期考査、授業態度、提出されたノート・プリントの内容などを総合的に判断する。
- 2) 年間の欠時数が規定の数を超える者は「未履修」とする。
- 3) 定期考査の得点が合格基準未満の者、及び、提出物未提出の者は評価を「1」とする。

【特に留意すべき事項】

- 1) 授業中の飲食禁止。
- 2) 携帯電話等の電子機器の使用禁止。
- 3) 教科書・ノート・プリント・筆記用具を必ず持参。
- 4) 態度不良の者は「欠席」として扱う。

令和3年度 年間授業計画

東京都立墨田工業高等学校(定時制課程)

教科名	科目名	単位数	対象学年	対象コース
工業	自動車整備	2	3学年	自動車コース
教科書名(出版社)		副教科書ほか	教員氏名	
自動車整備(実教出版)		三級自動車シャシ		

【この科目の教育目標】

自動車車体(シャシ)各装置の構造と機能に関する知識と技能を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。

【この科目の教育内容】

- 1) 総論(自動車の原理)
- 2) 動力伝達装置、アクスル及びサスペンション、ステアリング装置、ホイール

【授業計画】(予定時数=単位数×35時間)

1 学期	概要 自動車の原理
	動力伝達装置(1)
	動力伝達装置(2)
	動力伝達装置(3)
	動力伝達装置(4)
	動力伝達装置(5)
2 学期	アクスル及びサスペンション(1)
	アクスル及びサスペンション(2)
	アクスル及びサスペンション(3)
	アクスル及びサスペンション(4)
	ステアリング装置(1)
	ステアリング装置(2)
	ステアリング装置(3)
	ホイール及びタイヤ(1)
3 学期	ホイール及びタイヤ(2)
	ホイールアライメント
	ブレーキ装置(1)
	ブレーキ装置(2)
	ブレーキ装置(3)
	ブレーキ装置(4)

【成績評価の方法】

- 1) 定期考査の合格基準を60点以上に設定し、基準に達しない場合は学期評定を「1」とする。
- 2) 記入させたプリントを定期考査毎の提出物とし、未提出の者は学期評定を「1」とする。
- 3) 年間の欠時数が規定の時間数を超過した場合には未履修とする。

【特に留意すべき事項】

- 1) 授業中飲食禁止。
- 2) 携帯電話使用禁止。
- 3) 教科書・ノート・指示されたプリントを持参する。
- 4) 態度不良者は「欠席」として扱う。

令和3年度 年間授業計画

東京都立墨田工業高等学校(定時制課程)

教科名	科目名	単位数	対象学年	対象コース
総合技術科	自動車整備	2	4学年	自動車コース
教科書名(出版社)		副教科書ほか		教員氏名
自動車整備・自動車工学1・2(実教出版)		なし		

【この科目の教育目標】

自動車シャシの駆動装置、走行装置、かじ取り装置等に関する構造と機能・整備法を理解させ、自動車実習において実車を整備する際に活用できる能力を育てる。3級シャシの過去問を演習し、合格を目指す。

【この科目の教育内容】

主に自動車シャシ分野の駆動装置、走行装置、かじ取り装置等の原理、構造、機能、整備法を理解させる。
3級シャシの過去問を演習・解説し、3月に実施される自動車整備士登録試験の受験準備をしていく。

【授業計画】(予定時数＝単位数×35時間)

1 学 期	ブレーキ装置①
	ブレーキ装置②
	ブレーキ装置③
	フレーム及び車体
	灯火装置
	計器類
	シャシまとめ
	①構造、機能及び取扱い法に関する初等知識
	②点検、修理及び調整に関する初等知識
	③整備用の試験機、計量器及び工具の構造、機能及び取扱い法に関する初等知識
	④材料及び燃料油脂の性質及び用法に関する初等知識
	⑤保安基準その他の自動車の整備に関する法規
	上記①から⑤に関する総合演習
3 学 期	①構造、機能及び取扱い法に関する初等知識
	②点検、修理及び調整に関する初等知識
	③整備用の試験機、計量器及び工具の構造、機能及び取扱い法に関する初等知識
	④材料及び燃料油脂の性質及び用法に関する初等知識
	⑤保安基準その他の自動車の整備に関する法規
	上記①から⑤に関する総合演習

【成績評価の方法】

- 1) 定期考査、授業態度、提出されたプリントを総合的に判断する。
- 2) 年間の欠時数が規定の数を超える者は「未履修」とする。
- 3) 定期考査の得点が70点未満のもの及び提出物未提出者は評価を「1」とする。

【特に留意すべき事項】

- 1) 授業中に飲食しない。
- 2) 携帯電話の使用禁止。
- 3) 教科書・ノート・筆記用具を必ず持参させる。